

令和2年4月2日  
国土交通省中部地方整備局  
名古屋国道事務所

## 分かり易い道案内に向けた取組を行います ～2027年のビッグプロジェクトに向けた取組～

### 1. 概要

2027年予定の品川～名古屋間のリニア中央新幹線開業など、今後も中京圏においてはビッグプロジェクトが目白押しとなっており、当地域では旅行形態に大きな変化が現れることが予想されます。

愛知県道路標識改善対策協議会※<sub>1</sub>（道路標識適正化委員会）では、これに対応するための道路標識改善について検討を進めており、2月26日に開催した本会議において連携して改善の取組を進めていくことを確認し、取組方針を作成※<sub>2</sub>しました。

今後、この取組方針に基づき、関係機関と連携して道路標識の改善を着実に進めて参ります。

（参考）※<sub>1</sub>とは「利用者にとってわかりやすい標識」を目標に、道路交通環境の整備を目的として構成された組織です。構成員として、国、県、政令市、有料道路事業者、警察が参加しています。  
※<sub>2</sub>は、道路標識設置基準が改正（令和元年10月）された際に新たに追加された項目で、「設置計画を定める場合には、（中略）取組方針を作成するものとする」とされています。

### 2. 資料

別紙1）道路標識設置計画の取組方針（愛知県）

配 布 先
中部地方整備局記者クラブ

問 い 合 わ せ 先		
国土交通省	中部地方整備局	名古屋国道事務所
副所長	稲垣 光正	TEL:052-853-7320
交通対策課長	平田 美正	FAX:052-841-2517

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910**（通話料無料・24時間受付）

## 1. 目的

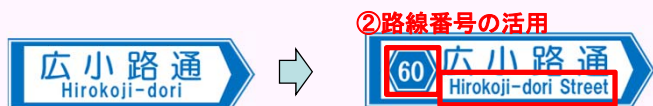
2027年予定の品川～名古屋間のリニア中央新幹線開業などにより、中京圏の旅行形態に大きな変化が現れることが予想される。特に、来訪者の移動時間短縮により移動エリアの拡大が見込まれる。

これに対応すべく、全ての道路利用者に分かり易い道路標識の案内方法改善を推進する。

## 2. 取組内容

次の内容に関する取組を行う。

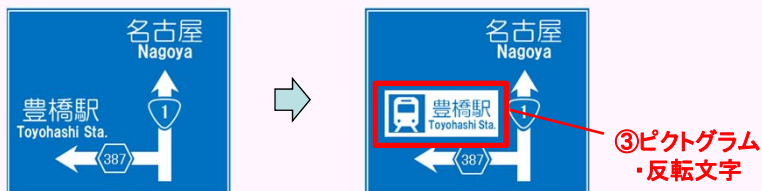
- ①英語表記改善
- ②路線番号の活用(通称名表記の活用含む)



②路線番号の活用

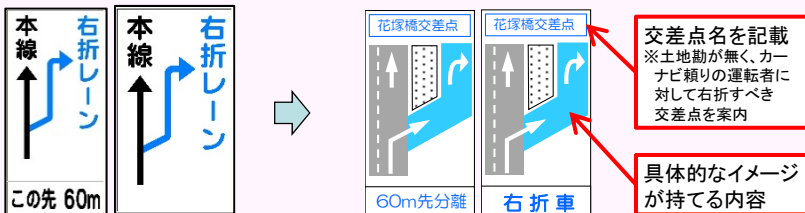
①英語表記改善

- ③ピクトグラム、反転文字の活用



③ピクトグラム・反転文字

- ④右折レーンシフト構造の場合の交差点名表示



具体的なイメージが持てる内容

- ⑤過年度設置済地図標識の統合、集約を検討

## 3. 重点整備区域及びその対象路線

重点整備区域及びその対象路線は、下記統計等を参考に選定する施設を案内する範囲とする。

- ・愛知県観光レクリエーション利用者統計
- ・ビッグデータを活用した愛知県の観光拠点及び回遊に関する調査
- ・愛知県訪日外客動向調査

### <施設区分>

<b>I. 標識令で規定された施設等</b>
鉄道または軌道駅、道の駅等、空港、城、温泉、美術館、公園、郵便局、体育館
<b>II. 道路標識設置基準・同解説に示す著名地点例</b>
遊園地、動物園・植物園(水族館も含める)、庭園、博物館・資料館、神社、寺院、名木運動場、球技場
<b>III. その他</b>
観光地(名所等)、公共施設等

※今後のリニア開業を見据えた商業観光施設整備状況、観光業界等の動向、プローブデータ等により検証し、必要に応じて追加する。

## 4. スケジュール

リニア開業1年前の2026年度までを目処に改善を推進する。

中間年度に各種動向調査の経年変化の確認及び世間の動向による範囲の見直しを実施する。